

実験動物福祉支援組織
「実験動物福祉コミュニケーション」
の設立について

この度、私たちは実験動物・動物実験に関するコンプライアンス支援非営利組織「実験動物福祉コミュニケーション」を設立いたしました。

平成 17 年の動物愛護管理法が改正され 3R が取り入れられ、その後文科省、農水省及び厚労省から動物実験に関する基本指針が発出され、「自主管理（機関管理）」制度が構築されました。それから 10 年以上が経ちましたが、まだ動物を用いた研究や検査を行っている研究機関に自主管理体制を担保するための外部機関による検証・認証制度が、全てに行き渡っていません。そこで私たちは、各基本指針が求めている外部検証の受検と適正な動物実験のさらなるレベルアップを支えることを目的とし、実験動物・動物実験に関するコンプライアンス支援非営利組織「実験動物福祉コミュニケーション」を設立することとしました。

本会は、上記目的の達成に向け、研究・検査機関等の実験動物・動物実験に関する体制整備と動物実験等の適正な実施に寄与するために以下の事業を行います。

- ① 動物実験の適正な実施に関わる運用を支援するコンサルタント事業。
- ② 動物実験計画書の記載内容の評価を支援する事業。
- ③ 動物実験に関わる自己点検評価を支援する事業。
- ④ 動物実験委員会の外部委員を紹介する事業。
- ⑤ 実験動物の福祉を推進し、適正な動物実験の実施に関わる情報を発信する事業。

本会は、非営利活動として上記事業を実施いたします。皆様には趣旨をご理解いただき、何卒ご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

平成 30 年（2018 年）4 月吉日

発起人 代表 笠井憲雪（東北大学名誉教授）
上田正次（元株式会社特殊免疫研究所常務取締役）
岡村匡史（国立国際医療センター研究所室長）
塩谷恭子（国立循環器病研究センター室長）
山田章雄（東京大学名誉教授）
山田靖子（東京大学特任教授）

事務局長 熊谷隆（有限会社熊谷重安商店社長）

連絡先(事務局アドレス) lawcom@kumashige6336.com

ホームページ <http://www.kumashige6336.com/lawc/index.html>

